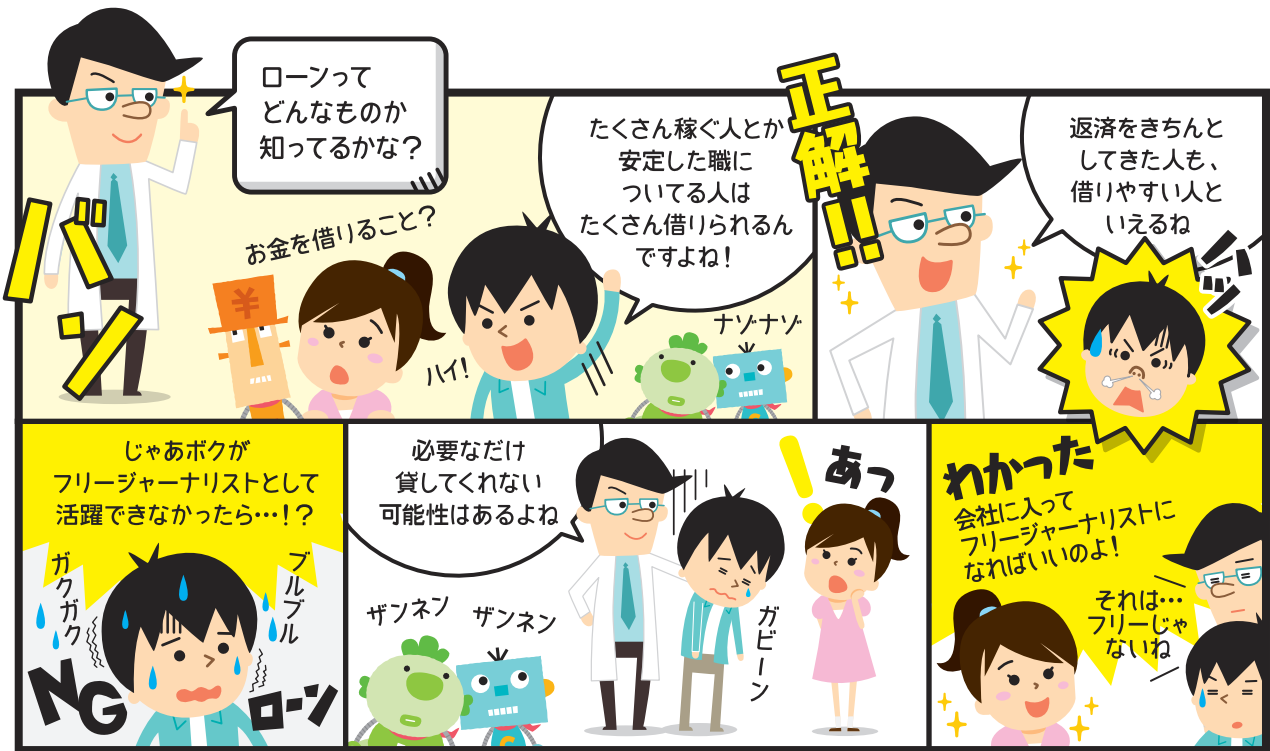




ローンとクレジット



! ローンとは

ローンとは、銀行などからお金を借りて、後から少しずつ支払う約束のことです。

日々の生活費は、毎月の収入でまかなえても、たとえば車などの高額な買い物になると、お金を一度に用意するのが難しいケースも出てきます。そのような場合にローンを利用すると、必要なものを必要なときに手に入れます。

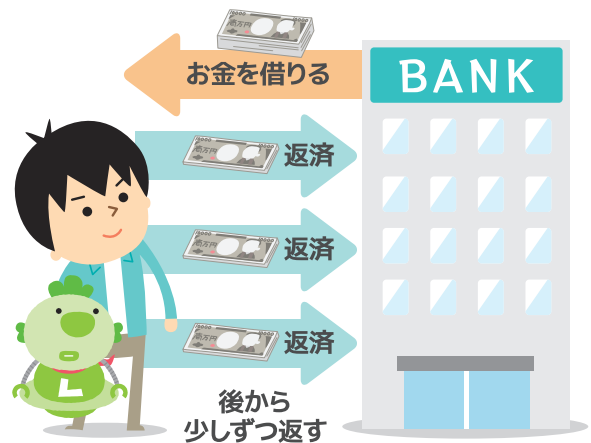
こんなときに

- ・車を購入したいとき
- ・マイホームを購入したいとき



利用者

金融機関



!! クレジットとは

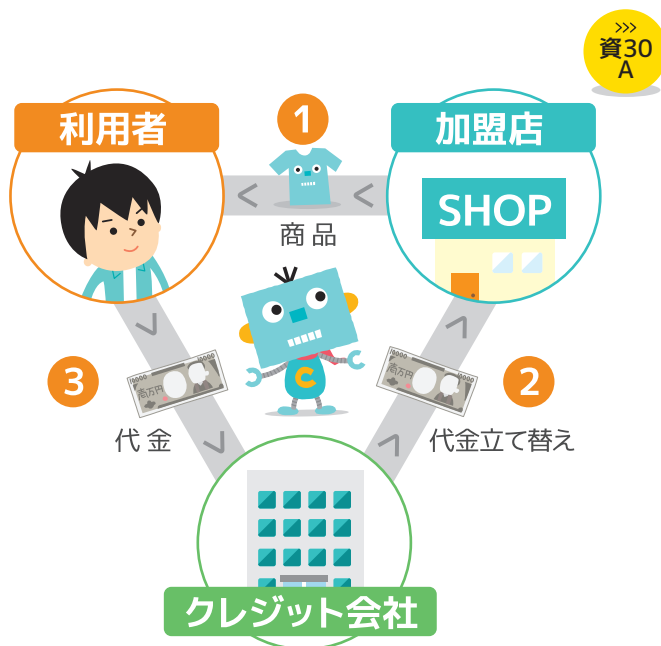
クレジットとは、商品などを買った時点では代金を支払わず、後から支払う約束のことです。

商品を買った時点で代金を支払わない代わりに、「決められた日に必ず代金を支払います」という約束を交わします。代金の支払いが後回しになるため、買う人に信用がなければ利用できません。

クレジットには、買い物のたびに、申込書を書いて利用を申し込む方式(個別方式)と、利用限度額(P34参照)の範囲ならいつでも何回でも利用できる方式(クレジットカード)があります。

こんなときに

- ・パソコンを購入したいとき
- ・ネットショッピングで洋服を購入したいとき



!! クレジットカードとは

クレジットカードは、個人の返済能力(年齢、収入、勤続年数など)を審査したうえで発行されるカードです。その人の信用状況に応じて、あらかじめ利用限度額(P34参照)が設定されます。そして、その利用限度額の範囲内なら、いつでも何回でも、クレジットで支払うことができるのが特徴です。

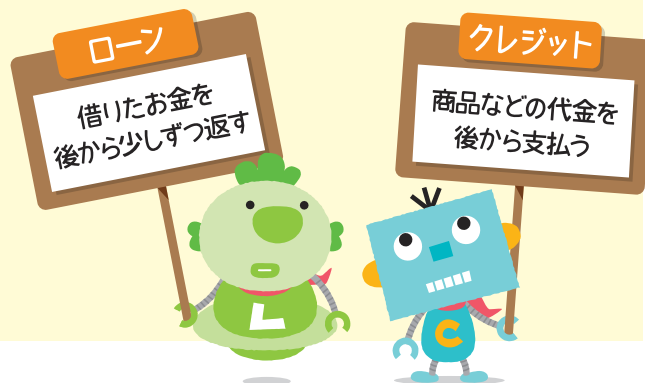
個別方式に比べて、クレジットカードのほうが利用できる店舗が多く、最近では主流になっています。



・ ローンとクレジットの違い

ローンとクレジットは、どちらも後で支払う約束であるという点、分割で支払う場合は手数料等がかかるという点が共通しています。

両者の違いは、一般的にローンは、車や住宅など高額なものを買うときに利用され、返済は長期になります。一方、クレジットは、洋服や家電など様々な買い物に利用することができ、支払いはローンに比べると、比較的短期になります。





クレジットカードの仕組み

💡 現金がなくても買い物ができるのはなぜ？

クレジットカードを使えば、手元に現金がなくても買い物ができます。これはカード会社が一時的に利用代金を立て替えているからです。代金は支払わなくてもよいというわけではなく、翌月以降、カード会社に支払うことになります。

クレジットカード利用の流れ

>>>
資31
A



・クレジットカードのおもな機能・

>>>
資31
B

1 支払い機能

- ・手元に現金がなくても、代金を支払うことができます。
- ・クレジットカードの多くは国内だけではなく海外でも利用することができます。
- ・多額の現金を持ち歩かずにすむので安全です。

2 借入れ機能(キャッシング)

- ・現金が必要な際、ATMなどでお金を借りることができます。

3 ID機能

- ・クレジットカードの所有者(=会員)であることが証明されると、一定の金額までの支払い能力について信用できると判断してもらえます。

クレジットカードの支払い方法

支払い方法の種類

クレジットカードの利用代金の支払い方法は、「一括払い」「分割払い」「リボルビング払い」(P33参照)があり、買い物時に選びます。

一括払い

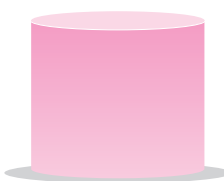
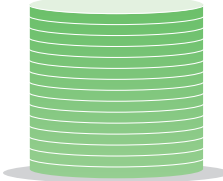
利用代金を、翌月あるいは翌々月に一括で支払う方法です。手数料がかからないので、利用代金と同額を翌月あるいは翌々月に支払います。
また、ボーナス月に、利用代金を一括で支払うボーナス一括払いという方法もあります。支払いが数か月後になる場合もありますが、手数料はかかりません。

分割払い

利用代金を指定する回数に分けて支払う方法です。分割回数が多いほど、一度に支払う金額を減らせます。ただし、分割回数が多いほど手数料がかかります。
また、利用代金を翌月と翌々月の2回に分けて支払う2回払いという方法もあります。分割払いともいいますが、手数料がかからないのが一般的です。

支払い方法による支払い総額の違い

10万円のノートパソコンをクレジットカードで購入する場合

	一括払い	3回払い	15回払い
			
月々の支払い額	100,000円	34,170円	7,353円
手数料の総額	0円	2,510円	10,295円
支払い総額	100,000円	102,510円	110,295円

※手数料率15%の場合。 ※1円未満の金額の扱いや、算出方法の違いなどによって、実際の金額とは異なる場合があります。

>>>
資32
A-B



分割払いは利用代金より多く支払うことになる



リボルビング払い

リボルビングとは、「回転」という意味です。

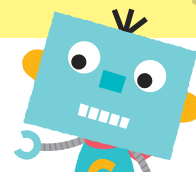
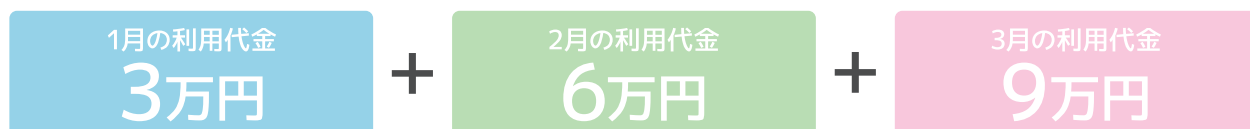
リボルビング払いは毎月の支払い額を決めて、利用代金の残高がなくなるまで支払う方法です。

>>>
ワ33

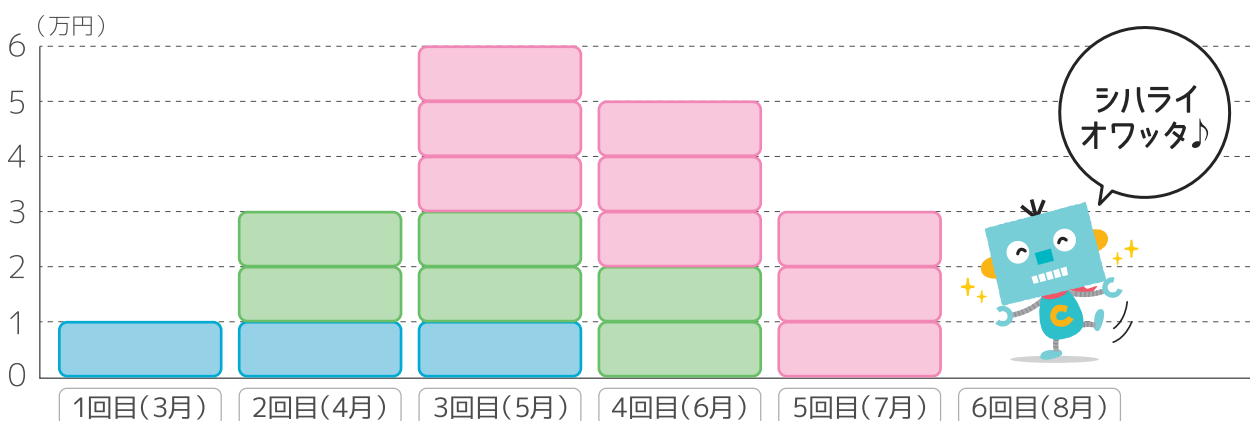
分割払いとの違いについて確認してみよう

例 3か月にわたって、クレジットカードで買い物をした場合(手数料は省いています)

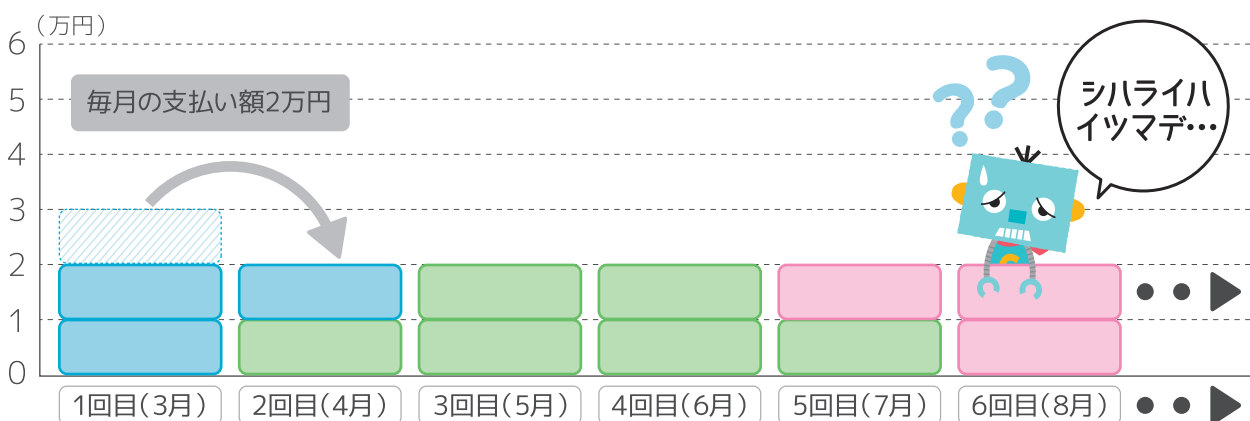
※支払い日が、翌々月の場合。



3回分割払い



リボルビング払い



毎月、
2万円ずつだから、
あと3回かな…?

毎月の支払い額は一定なので
返済計画が立てやすい一方で、
追加で利用すると、支払いがいつ終わるのか
分かりにくい一面もあるので注意しましょう。



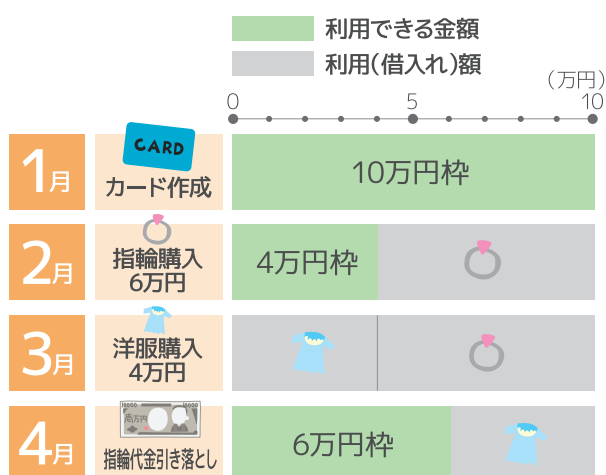
クレジットの利用限度額

! 1枚のカードでいくらまで利用できる?

 >>>
 ワ34

1枚のカードで利用(借入れ)できる金額は、カード申込者の信用度によって変わります。一般的にショッピングは30~80万円程度、キャッシング(借入れ・P31参照)は30~50万円程度に設定されています。多くの利用実績を積むことで、利用できる限度額が上がることもあります。

利用限度額のイメージ



利用限度額10万円の
例を見てみましょう!

利用限度額10万円まで利用できます。

6万円利用したので、その分の枠が減って
あと4万円まで利用できます。

合計10万円利用したので、
これ以上は利用できません。

指輪代金(2月利用分)の6万円が支払われたので、
その分の枠が戻ります。

※手数料などは考慮していません。※支払い日が、翌々月の場合。

利用限度額は調整できる

利用限度額を上げたい場合

海外旅行などで利用限度額を超えて高額な代金を支払う必要がある場合、カード会社に連絡をして増額を認めてもらえれば、利用限度額を一時的に引き上げてもらうこともできます。



利用限度額を下げたい場合

大きな買い物をしていない場合や、キャッシングをしない場合、カード会社に連絡をして、あらかじめ決められていた利用限度額を下げるすることができます。


 >>>
 資
 34



ローンの種類

ローンハ
＼イロイロ～ン！／



ローンにはあらかじめ使いみちを限定したローンと、
使いみちが自由なローンがあります。それぞれの特徴を確認しましょう。

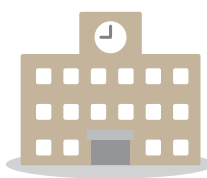
住宅ローン



家を
購入する
ときに！

マイホームを購入するときに借りられるローンです。
銀行などから借りて、分割して支払います。最長で
35年までの長期返済ができます。

教育ローン



子どもの
教育の
ために！

教育資金を支払うときに借りられるローンです。
高校や大学（院）、各種学校などに納める入学金
や授業料などが対象となります。

自動車ローン



車を
購入する
ときに！

自動車を購入するときに借りられるローンです。
銀行などの金融機関のほか、車の販売店でも申し
込むことができます。

カードローン



使いみちは
自由！

使いみちが自由なローンです。あらかじめ決めら
れた借入れ限度額内なら、いつでも何回でも借り
ることができる仕組みです。

ローンには様々な種類がありますが、借りたお金は将来の収入から返済していくことになります。そのため利用するときは、これから得る収入できちんと返済できるかどうかをよく検討し、計画的に利用することが大切です。



どんなローンも、返済能力の範囲で計画的に利用する

金利とは？

金利とはお金の使用料

ローンでお金を借りた場合には、お金の使用料にあたる金利がかかります。

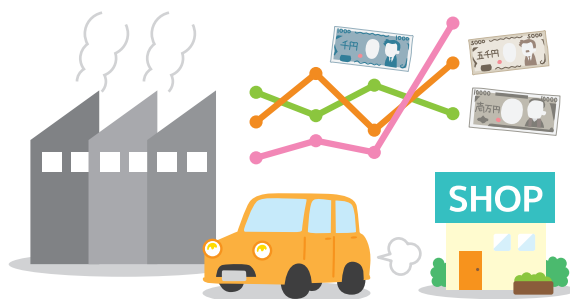
商品の価格がお店によって違うように、同じ種類のローンでも、金融機関によって金利は異なります。金利の違いによって最終的に支払う金額も変わってくるため、自分にとってどのローンが有利なのかを、よく検討してから決めることが賢い利用方法といえるでしょう。



金利は変動する

金利は常に一定ではありません。国内の景気や物価、外国為替の状況、金融政策などによって常に変動しています。

そのため、ローンを利用したいときには、今の金利が高いのか低いのか、今後の金利はどうなりそうなのかについても考えてみるとよいでしょう。



担保制度って、どんなもの？

「担保」とは、借りたお金を返せなくなった場合の備えとして、借りる人が貸す人に提供するものです。担保には、ものを担保とする「物的担保」と、人が保証人になる「人的担保」があります。

○ 物的担保

代表例は家や土地などの不動産です。万が一、返済できなくなった場合は、担保としていた家は売却されて、返済に必要な資金をつくります。

家・土地・預金など



○ 人的担保

親や親戚などが保証人となり、「借りた人が返せなかったら、代わって返済する」と約束するのが人的担保です。

保証人・連帯保証人

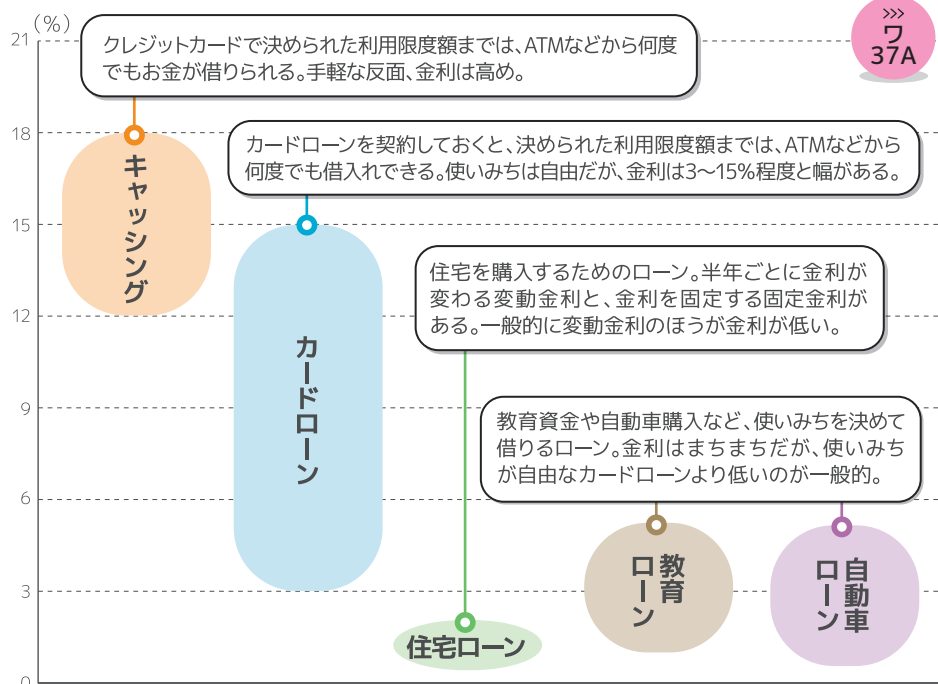




ローンの種類と金利

ローンには様々な種類があり、金利の高低はその種類ごとにある程度の傾向があります。ただし、借り方や借りる人、借りるときの状況によって、金利は変わります。

○金利の分布図



金利が決まる条件の例

使いみち

使いみちが限定されていると低く、自由だと高くなる。

担保の有無

担保があるほうが、金利が低くなる。

利用者の信用度

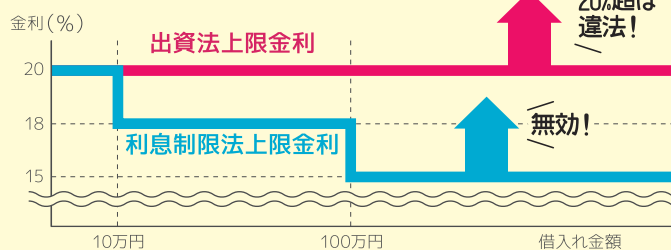
信用度が高いほど金利は低くなる。また、過去の利用実績などが考慮されるケースもある。

●金利に上限はないの？

金利の上限は法律で決められています。借入れ金額ごとに決められた利息制限法の上限金利を超えた場合は無効とされ、制限を超える部分の金利は支払う必要がありません。

さらに、出資法の上限金利20%を超えた場合は、その貸付業者は刑罰の対象になります。上限金利を超えていたら、それはいわゆるヤミ金＝無登録の業者。ヤミ金から借金をすることのないよう、気を付けましょう。

○上限金利



法律で上限金利が決まっている

利息の計算方法

金利の表し方

金利には、^{ねんり}年利、^{げつり}月利、^{ひぶ}日歩などがあります。一般的には年利(=1年間にどれくらい利息が付くか表したもの)が使われますが、同じ金利でも表し方を変えることで数字が変わり、金利が違うように感じがちです。お金を借りるときは、提示された金利が年利か、月利なのか、表し方を確認する必要があります。

○同じ金利でも…

年利 18%

||

月利 1.5%

||

日歩 0.05%

同じ金利なのに、全然違って見えるのね!



○利息の計算式

お金を借りたときにかかる利息は、元金(最初に借りたお金)×金利×借入れ期間で計算できます。

式

元金

×

金利

×

借入れ期間

=

利息の総額



計算してみよう!

>>>
ワ38

例にしたがって、利息額を計算してみましょう。

例 10万円を年利15%で6か月借りたとき

10万円

×

15%(0.15)*

×

6か月(6/12)*

=

7,500円

* %を小数に直します。
15×1/100=0.15

* 借入れ期間が1年未満のときは、
1か月を1/12年として年に直します。

問題 15万円を年利10%で4か月借りると?

15万円

×

10%()

×

4か月()

=

()

円

答え: 15万円×0.1×4/12=5,000円



利息は年利をベースに考えよう



返済方法の選択



住宅ローンなどで返済が長期にわたる場合、返済方法の違いによって返済総額に大きな差が出る場合があります。それぞれの違いを十分に理解しておきましょう。



固定金利と変動金利

大きく分けて、金利には借りるときの金利が一定期間固定されるタイプ(固定金利)と、そのときの経済状況などによって金利が変わるタイプ(変動金利)があります。

固定金利

返済の初回から、金利が決まっているタイプ。経済状況が変わったとしても、借入れ時点で決めた金利がずっと適用されます。



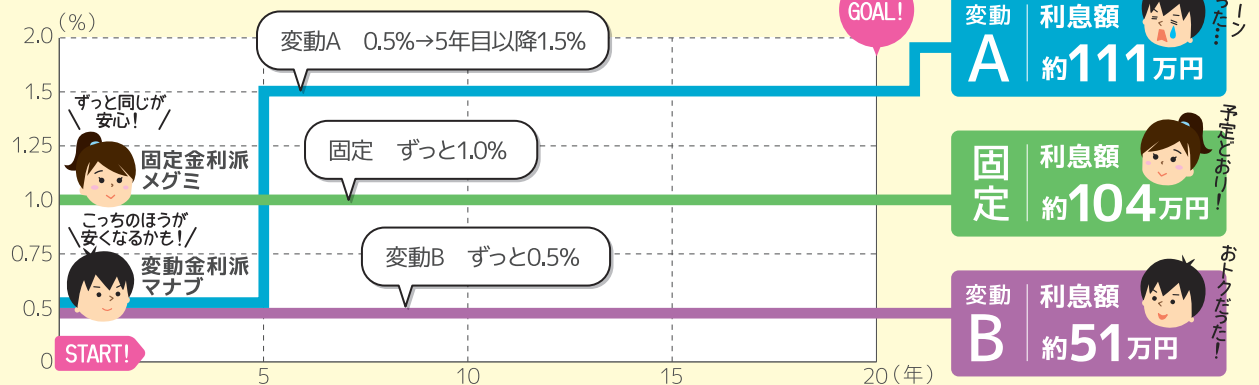
変動金利

返済の途中で金利が見直される可能性のあるタイプ。そのときの経済状況などによって金利が変わります。



どっちが安い？固定金利と変動金利

○ 1,000万円を20年間で返済した場合



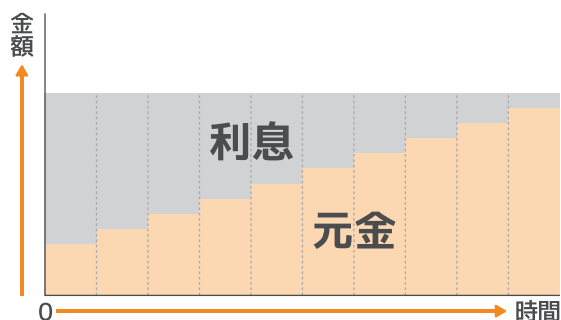
元利均等返済方式と元金均等返済方式

借入れの支払いには、毎回の返済額が同じ返済方式と、少しずつ減っていく返済方式があります。選べる場合には、自分に合ったほうを選びましょう。

元利均等返済

毎回同じ額を返済します。返済額は毎回同じですが、はじめは利息の部分が多く、後になるほど元金部分(借りた分のお金)の返済が増えるという方式です。

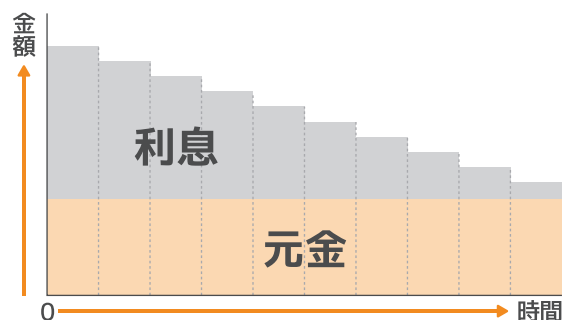
元利均等返済方式



元金均等返済

元金の返済額は毎回同じですが、利息を含めると毎回違う額を返済します。最初が一番多く、最後が一番少ない返済の方式になります。

元金均等返済方式



同じ条件ならどっちがおトク？

条件が同じであれば、当初の返済額が多い元金均等方式のほうが、利息の総額は少なくなります。ただし、返済期間を短くするなど条件を変えれば、その逆になることも。返済額・返済期間などを総合的に判断することが大切です。

1,000万円を35年間で返済した場合(金利3%)

	月々の支払い		返済総額
元利均等返済	3万8,485円 毎月同じで安心！		1,616万3,700円 アレ、メグミちゃんより多い！？
元金均等返済	最初	最後	1,526万2,391円 やった～！
	4万8,810円 最初は多くてタイヘン...	2万3,669円 最後は減ってラクラク！	

※1円未満の金額の扱いや、算出方法の違いなどによって、実際の金額とは異なる場合があります。



返済方法の選択によって、借入れ額は同じでも利息の総額が変動する



自動車の購入方法

自動車を買うときには様々な方法があるので、自分に合ったものを選ぶことが大切です。



〇一括払いと分割払い

自動車の購入代金は、現金やクレジットカードを利用して一括で支払うほか、分割払いを利用することもできます。分割払いの場合は、自動車の販売店や金融機関でローンを組みましょう。



〇アドオン返済

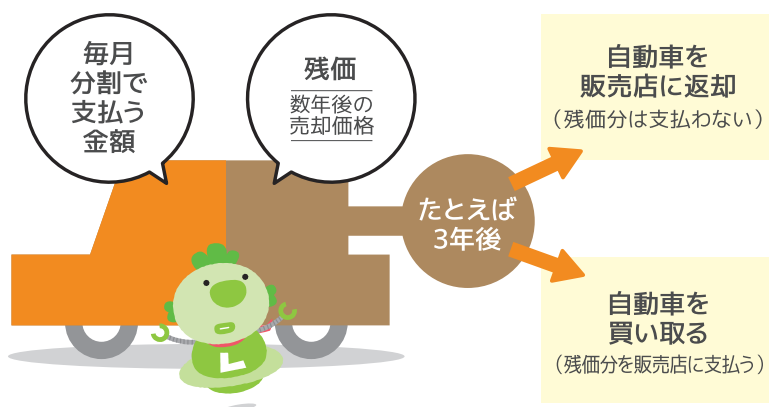
アドオン返済は、自動車を買うときによく利用される返済方法です。購入代金全体に金利をかけて利息を計算するので、通常よりも利息が多くなります。また、アドオン返済で使われる計算式は通常の分割払いとは違うので、一般的な年利に直したとき何%なのか、必ずチェックしましょう。



>>>
資41
A

〇残価設定方式

残価設定方式とは、数年後に自動車を販売店に返却するという前提で、そのときの自動車の売却価格＝残価を見積もり、その金額分を差し引いた残りの金額を分割で返済していく方法です。月々の返済額が少なくすむのが特徴です。実際には、自動車を販売店に返却せずに、その時点での残価を支払って買い取ることも可能です。



>>>
資41
B



自動車の購入も返済方法によって、返済総額が変化する

ローンの申込先はどんな会社？

！ おもな申込先の特徴をチェックしよう

ローンは、買い物をする店などで申し込める場合と、自分で金融機関などに直接申し込む場合があります。申込み先によって金利などの条件が異なりますので、よく調べて比べたうえで申し込みましょう。

銀行・信託銀行

銀行や信託銀行などの金融機関では、利用するたびに申込みが必要なローンと、カードを保有していれば利用限度額内は何度でも繰り返し利用できるローンを扱っています。



カードローンを
利用したいな／



／あなたは
信用がありますね！

信販会社



信販会社

信販会社はおもにものを買うときの「クレジット（P30参照）」を取り扱う会社ですが、多くの信販会社ではローンも取り扱っています。

消費者金融

消費者金融は、おもに個人に対して、無担保での貸付けを行っている貸金業者です。基本的には少額で、短期の貸付けが中心です。

／少額から
貸しますよ！／



／そーなんだ！／

